

「文化人切手（1949～1952）」考

佐藤 邦夫

時代の背景と「文化人切手」の一覧

かつて、切手蒐集は趣味の王様と言われるほどメジャーな趣味だった。敗戦後の財政難時代にそのことに目をつけた通信省（後に郵政省）は記念切手や特殊切手を粗製濫造・濫発したらしい（内藤陽介著『濫造・濫発の時代 1946～1952』）。おそらく「文化人切手」発行企画の動機にも同じ事情があったのであろうが、約 60 年後の今日の評価はそんなに悪くない。むしろ好評である。…ネットで探した際に見つけた紹介文を引用する。

“当時、文化シリーズの人選には大変なご苦労があったようですが、この分野では先駆的な欧米諸国に負けず劣らずの画期的な企画だったと思います。統一された格調の高いデザインで、出来ばえもなかなかのものです。”

そこで、筆者は思い立って「文化人切手の一覧」を作成してみた（別紙）。記載事項はつぎのとおり。

- ・発行順 No. ・氏名 ・専門分野 ・没年齢
- ・生年月日～没年月日 （注：9 代目市川團十郎だけは生没年しか調べ切れなかった）
- ・切手発行年月日 ・切手発行枚数

一覧にしてみると、確かに統一された格調の高いデザインだと思う。肖像そのものは、明治以降の写真が残されている文化人を選んだので、技官がその写真を元に腕を揮って描いたようだ。そのよい例が「寺田寅彦」であろう。遺影に採用された写真が元であり、それは年齢相応の穏やかやな顔であるが、切手では“真理を見抜く”かのような鋭い眼光で精悍な表情になっている、出色の出来映えである。下図では分からないが、切手の実物をルーペで拡大してみるとよく分かる。



切手（とお札）になった文化人たち

この 18 人の中でお札にも肖像が使われたのは 5 人だ。「野口英世」：千円札、「福沢諭吉」：一万円札、「夏目漱石」：千円札、「樋口一葉」：五千円札、「新渡戸稲造」：五千円札 である。当時の人選が適確であったことと、切手の肖像が優れたものであったことを示している。（注：「新渡戸稲造」だけは切手とお札で少し違う肖像）

女性は「樋口一葉」ただ一人で、お札にもなっている。かつ、最年少の 24 歳で生涯を終えた。次に短命だったのは「正岡子規」34 歳、「菱田春草」36 歳となる。（文芸・絵画関係でも重要なのは技功だけではなく、迸る情熱なのかも知れない。）最も長生きしたのは 75 歳の「坪内逍遙」で、72 歳「木村 栄(ひさし)」、71 歳「新渡戸稲造」とつづく。因みに 18 人の没年齢の平均は 55.7 歳（今なら定年前の年齢で後世に名を遺した）。

最も早く生まれた人は 1828 年の「狩野芳崖」、次いで 1829 年「西 周(あまね)」、1835 年「福沢諭吉」となる。逆に、最も遅く生まれた人は 1878 年の「寺田寅彦」、次いで 1876 年「野口英世」、1874 年「菱田春草」、1872 年「樋口一葉」となる。この人たちは言わば“同世代”なのである。したがって 18 人は 1828 年～1878 年に生まれた（約 2 世代相当の年齢差の）人たちだった。

文化人切手なのに「文化の日」11 月 3 日に発行されたのは、第 1 回の「野口英世」と最後（第 17 回）の「寺田寅彦」「岡倉天心」だけである。（注：1992 年から新しい文化人切手が「文化の日」に発行されてきた。しかし、2004 年発行分までのようだ。その後は発行されないまま、現在に至っている。）

余談だが、発行当時の評では「西 周」が一般には一番知られていない人だったらしい。この思想家は明治維新で活躍した人に大きな影響力があったという。（付記：筆者が全く知らなかった名は「梅 謙次郎」）

①野口英世(医学者, 51 歳)



(1876. 11. 9~1928. 5. 21)
1949. 11. 3 三千万枚発行

②福沢諭吉(教育者, 66 歳)



(1835. 1. 10~1901. 2. 3)
1950. 2. 3 三千万枚発行

③夏目漱石(文学者, 49 歳)



(1867. 2. 9~1916. 12. 9)
1950. 4. 10 三千万枚発行

④坪内逍遙(文学者, 75 歳)



(1859. 6. 22~1935. 2. 28)
1950. 5. 23 三千万枚発行

⑤市川団十郎(歌舞伎俳優)



9 代目 (1838~1903) 65 歳
1950. 9. 13 一千万枚発行

⑥新島 襄(教育者, 46 歳)



(1843. 2. 12~1890. 1. 23)
1950. 11. 22 一千万枚発行

⑦狩野芳崖(日本画家, 60 歳)



(1828. 2. 27~1888. 11. 5)
1951. 2. 27 一千万枚発行

⑧内村鑑三(宗教者, 69 歳)



(1861. 3. 23~1930. 3. 28)
1951. 3. 23 一千万枚発行

⑨樋口一葉(作家, 24 歳)



(1872. 5. 2~1896. 11. 23)
1951. 4. 10 一千万枚発行

⑩森 鷗外(文学者, 60 歳)



(1862. 2. 17~1922. 7. 9)
1951. 7. 9 一千万枚発行

⑪正岡子規(俳人, 34 歳)



(1867. 10. 14~1902. 9. 19)
1951. 9. 19 一千万枚発行

⑫菱田春草(日本画家, 36 歳)



(1874. 9. 21~1911. 9. 16)
1951. 9. 21 一千万枚発行

⑬西 周(哲学者, 67 歳)



(1829. 3. 7~1897. 1. 31)
1952. 1. 31 一千万枚発行
(「周」は「あまね」と読む)

⑭梅 謙次郎(法学者, 50 歳)



(1860. 7. 24~1910. 8. 26)
1952. 8. 25 一千万枚発行

⑮木村 栄(天文学者, 72 歳)



(1870. 10. 4~1943. 9. 26)
1952. 9. 26 一千万枚発行
(「栄」は「ひさし」と読む)

⑯新渡戸稲造(教育者, 71 歳)



(1862. 9. 1~1933. 10. 15)
1952. 10. 16 一千万枚発行

⑰-1 寺田寅彦(科学者, 57 歳)



(1878. 11. 28~1935. 12. 31)
1952. 11. 3 一千万枚発行

⑰-2 岡倉天心(画家, 50 歳)



(1863. 2. 14~1913. 9. 2)
1952. 11. 3 一千万枚発行

注:郵便料金は 1951. 11. 1 改正 (8 円から 10 円)